

第69回全日本中学校通信陸上競技宮城県大会要項

- 1 主 旨 全国で共通した実施要項に基づいて、各都道府県にて開催された競技会の記録を集計し、出場したすべての中学生の記録を日本陸上競技連盟のサイトに掲載して、自身の努力の成果や挑戦の証を確認できるようにすることで、より多くの中学生が陸上競技の楽しさを体験し、目標に向かって取り組むことの重要性を学ぶ機会とする。また、本大会は全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録突破指定大会とする。
- 2 主 催 (公財)日本陸上競技連盟, (公財)日本中学校体育連盟, (一財)宮城陸上競技協会
宮城県中学校体育連盟
- 3 主 管 宮城県中体連陸上競技専門部
- 4 後 援 宮城県教育委員会, 仙台市教育委員会, NHK
- 5 期 日 令和5年7月1日(土)～2日(日)
- 6 場 所 弘進ゴムアスリートパーク仙台(仙台市陸上競技場)

- 7 競技種目 男子(17種目)
1年100m, 2年100m, 3年100m
[共通] 200m, 400m, 800m, 1500m, 3000m, 110mハードル(0.914m)
4×100mリレー, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 砲丸投(5.000kg), 円盤投(1.500kg)
四種競技<①110mH②砲丸投(4.000kg)③走高跳④400m>
1年1500m(宮城県独自オープン種目)

- 女子(15種目)
1年100m, 2年100m, 3年100m
[共通] 200m, 800m, 1500m, 100mハードル(0.762m)
4×100mリレー, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 砲丸投(2.721kg), 円盤投(1.000kg)
四種競技<①100mH②走高跳③砲丸投(2.721kg)④200m>
1年1500m(宮城県独自オープン種目)

備考

*ハードルは次の規格で行う。

男子110mH…個数10台, 高さ0.914m, スタートラインから第1ハードルまで13.72m, ハードル間9.14m

女子100mH…個数10台, 高さ0.762m, スタートラインから第1ハードルまで13.00m, ハードル間8.00m

*砲丸の重量は男子5.000kg(四種競技は4.000kg), 女子は2.721kgとする。

*円盤の重量は男子1.500kg, 女子1.000kgとする。

*四種競技は上記の種目と順序で, 2日間で実施する。1日目に上記①②, 2日目に③④の種目を実施する。得点はワールドアスレティックス(世界陸連, 以下「WA」)が定めた混成競技採点表(男子十種競技, 女子七種競技と同じもの)による。

*宮城県独自種目として, 男女1年1500mをオープン種目として実施する。

*リレー種目の全国大会出場権は, 県中総体1位チームか通信大会1位チームのうちの記録(上記二つの大会の予選・準決勝・決勝の中から)の上位チームとする。

但し, 同タイムの場合は通信陸上, 県中総体のセカンドタイムの良い方が出場権を得る。

※ 以下, 下記に示すもの以外は, 要項に準ずるものとする。

8 競技規定

- (1) 2023年度日本陸上競技連盟競技規則と本大会申し合わせ事項によって実施する。
- (2) トラック競技は, 写真判定システムによる全自動計時(電気時計)とする。
- (3) 風力計測については, デジタル風速計を使用する。

9 参加資格

- (1) 2023年度日本陸上競技連盟登録会員であること。
- (2) 本年度, 学校医の定期健康診断において異常なしと判断され, その後の活動状況から本大会の出場に差し支えないと判断し, 保護者が参加を承諾した者。
- (3) 次の①②③のいずれかを満たしている者。ただし②または③により参加する場合は, 日本中学校体育連盟が定める「全国中学校体育大会に参加を認める『参加資格の特例』」にも準拠していること。(別項参照)
 - ①各都道府県中学校体育連盟に加盟する中学校の生徒で学校長が参加を認めた者。
 - ②学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍する生徒で, 学校長が参加を認め, 各都道府県中学校体育連盟に参加を認められた者。
 - ③地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)を通じて都道府県陸上競技協会と日本陸連に団体登録し

て活動する中学生で、その団体の所属長が参加を認め、大会開催地の都道府県中学校体育連盟に参加を認められた者。

- (4) 前項の①または②により参加する場合は、在籍する学校が所在する都道府県の大会に、日本陸連に中学校登録をしている加入団体（学校）の所属により参加する。
また、前項の③による参加は、各都道府県中学校体育連盟が定める参加資格に該当する場合に、その都道府県の大会に参加できる。所属は、日本陸連に団体登録をしている加入団体（地域クラブ活動等）とする。

* 全日本中学校陸上競技選手権大会の参加に際しては、日本中学校体育連盟陸上競技部が定める「全日本中学校陸上競技選手権大会参加の特例細則」（別項参照）もあわせて満たす必要があるため、都道府県大会の時点から所属の選択に注意すること。

- (5) リレー種目は登録メンバー全員が同一学校に在籍する場合に限り、地域クラブ活動等の所属でも参加できる。
(6) 複数の種目（リレーを含む）に参加する競技者は、すべての種目に同じ所属で参加すること。種目によって異なる所属で参加することは認めない。

1 0 参加制限

- (1) 参加標準記録突破者の内、原則として各校1種目1名、1人1種目とする。ただし、リレーは除く。
1 4. に記載の表を参照
(2) 学年別種目は、該当学年の生徒に限る。
他国籍等の選手の学年種目参加については、他の選手が不利にならないように配慮する。
(年齢が違う場合は共通種目に参加すること。)

1 1 競技方法

- (1) 800mまでのトラック種目は予選タイムレースとし決勝を行う。1500m・3000mは、タイムレース決勝とする。
(2) フィールド競技において、走高跳、棒高跳の競技開始の高さ、バーの上げ方は県総体と同じとする。走幅跳、砲丸投はトップ8を行う。
(3) 天候等により、競技方法を変更する場合がある。（予選を行わず、タイムレース決勝など）
(4) 参加者全員のシューズチェックは行わない。ただし、審判、審判長の権限により求められた場合にはシューズをチェックする。
(5) 各レースで不正スタートは、混成競技を除き、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。混成競技は、不正スタートを2回目以降に行った競技者が失格となる。
スタート時の不適切行為に関しては審判長によって警告「イエローカード」を与えられることがある。2枚の「イエローカード」の提示を受けた競技者には「レッドカード」が提示され、当該種目のみを失格とする。ただし、競技会からは除外しない。
(6) 全国ランキングは、WAのポイントランキング制度におけるリザルトスコアを引用し（100m, 200m, 100m ハードル, 110m ハードル, 走幅跳は風力に応じたポイントの加減も適用）、各競技者の記録をポイントに換算して決定する。ただし、四種競技はポイントではなく記録（総合得点）により決定する。
* 本大会のハードル種目、投てき種目は規格がシニア用と異なるが、ポイントはWAのリザルトスコアをそのまま引用して算出する。
(7) 複数のラウンドに出場した場合、最もポイントの高いラウンドのポイントをランキング対象とする。走幅跳は最もポイントの高い試技をランキングの対象とする。四種競技は総合得点が追風参考であってもランキングの対象とする。

1 2 申込方法

- (1) ①インターネットでの入力（NANS 2 1 V Web 登録）による申し込み。
・ NANS 2 1 V Web サービスの Web サイトからログインする。
※ エントリータイムは必ず記入すること。申し込み後の種目変更や追加は認めない。
※ 入力後、データのアップロードを確認すること。
・ 申し込み期日：令和5年6月14日（水）17：00 厳守
注：期日を過ぎるとエントリーできなくなります。
・ この申込により、生徒氏名・所属名・学年・性別のプログラム等への記載を了承したものとする。
② 入力後の提出書類（大会申込み一覧表）
・ NANS 2 1 V Web 登録で作成したエントリーファイルの印刷帳票の原本（①で入力作成したもの）
※ エントリーミスを防ぐために、選手本人に必ず原本を確認させること。
※ 大会申込み一覧表の所属長名、責任者名、競技役員協力者を入力し、押印すること。（本大会での競技役員に協力できる方を各所属から1名以上、必ず入力すること。協力いただけない所属は、参加をお断りします。）
・ 完成した「申込一覧表」は、申込責任者名、役員協力者の入力を確認し、6月19日（月）必着で、各地区の責任者に提出すること。

- ・「申込一覧表」が、プログラム編成会議に未提出の所属は大会参加を認めない。
※各地区の責任者は、各所属から提出された「申込一覧表」を、プログラム編成会議で提出すること。

(2) プログラム編成会議は6月20日(火)14時～ 仙台市立茂庭台中学校で行います。なお、各地区の責任者は各校の「申込一覧表」を持参し、必ず出席すること。

(3) エントリー確認後、エントリーリストを宮城県中体連陸上競技専門部のWebページにUPするので、必ず確認すること。訂正または、問い合わせは、申込み担当 鈴木愛子(仙台市立宮城野中学校)まで。原則として大会当日の訂正は受け付けません。

(4) 参加料について

個人種目は一人800円、リレーは1チーム2000円とし、令和5年6月16(金)まで期日厳守で下記の口座に振込むこと。振込手数料は、各所属で負担すること。振込の確認をもって、エントリー完了とします。

<p>七十七銀行 宮城町 支店 普通 5503701 宮城県中体連陸上競技専門部 部会長 菊地 淳 (キクチ ジュン)</p> <p>※振込人は、所属名のみ(例:ツカカ)を記入し、「仙台市立 等」は省くこと。 ※参加料の領収証は発行しませんので、振込の控えを各自で保管しておくこと。 ※競技者やチームが棄権した場合でも参加料の返金はしない。</p>
--

(5) アスリートビブスは各所属に割り当て(男女各40名分)に応じて準備する。日本陸連登録時に登録した番号を使用すること。

1.3 表彰

各種目の8位まで賞状を授与する。

ただし、宮城県独自種目の1年1500mは表彰の対象外とする。

1.4 参加標準記録

<通信陸上宮城県大会・参加標準記録> A標準は、公認記録のみ。B標準は、非公認でも可。

男子(17種目)			女子(15種目)		
種目	A標準記録	B標準記録	種目	A標準記録	B標準記録
1年100m	12"50	13"50	1年100m	13"60	14"60
1年1500m	4'45"00	5'03"00	1年1500m	5'10"00	5'36"00
2年100m	11"80	12"70	2年100m	13"00	14"00
3年100m	11"60	12"40	3年100m	12"90	14"00
200m	23"60	25"50	200m	26"80	28"90
400m	53"10	57"70			
800m	2'04"00	2'17"00	800m	2'21"00	2'38"00
1500m	4'15"00	4'43"00	1500m	4'46"00	5'16"00
3000m	9'15"00	9'59"50			
110mH	15"70	18"70	100mH	15"50	19"00
走高跳	1m80	1m60	走高跳	1m52	1m35
棒高跳	3m70	2m50	棒高跳		各校2名以内
走幅跳	6m30	5m50	走幅跳	5m10	4m30
砲丸投	12m50	8m70	砲丸投	12m00	9m20
円盤投		各校2名以内	円盤投		各校2名以内
四種競技	2400点	1700点	四種競技	2400点	1700点
4×100mR		各校1チーム	4×100mR		各校1チーム

参加制限

- (1) B標準記録を突破した者で、各校1種目1名、1人1種目とする。ただし、リレーは除く。
また、全国標準記録に達する可能性(A標準突破)のある選手はこの限りではない。
- (2) 共通種目(3年100mも対象)でA標準記録を突破した者は、全国標準記録に達する可能性のある選手と判断する。したがって、A標準記録を突破した者がいる場合は、さらに、B標準記録を突破した者を追加して申し込みをできる。また、A標準記録を突破した者は2種目申し込みすることができる。
学年別種目は該当学年の者に限る。A標準記録突破者がいる場合は、さらにB標準記録突破者を追加して申し込みすることができる。

2種目出場、1種目複数出場について

①: 2種目出場

A標準記録を突破した選手は、2種目出場を認める。

この場合、同一校でB標準記録を突破している選手+1名の出場を認める。

例) 男子3年100mでA標準を突破している選手が、男子200mに出場する。

男子200mでは、B標準記録を突破している。

この場合、別に男子3年100mでB標準記録突破者がいれば、その競技者は出場できる。また、別に男子200mでもB標準突破者がいればその競技者は出場できる。

- ②：1種目複数出場
 A標準記録を1名以上突破している種目については記録突破者全員と、B標準記録を突破者している選手+1名の出場を認める。
 例) 男子3年100m, 同一校で2名A標準記録を突破している。
 同一校で別にB標準記録突破者がいれば, その競技者は出場できる。合計3名出場となる。
- ③：A標準記録突破者の特例
 A標準記録を突破していないが特別の事情がある場合。
 例) A標準記録は突破しているが, 追い風参考等で公認となっていない。
 上記のような特別な事情がある場合は, 校長名の推薦書の提出によって, 審議対象となる。
 審議は通信大会抽選会で行い, 直ちに結果を顧問に連絡する。
 審議の結果, A標準記録突破者に準じると判断された場合は, 上記①, ②の出場を認める。

1.5 その他

- (1) 全国大会参加標準記録突破を考慮した番組編成を行う。
- (2) 個人情報の取り扱い(利用目的)
 個人情報保護に関する法令を遵守し, 取得した個人情報, 選手氏名・学校名・学年・結果等が本大プログラムやウェブサイト等に掲載, 公表されることを同意した上でエントリーすること。
- (3) 本大会の3年生参加種目については国体(少年B・少年共通種目)予選会を兼ねる。
- (4) 引率者及び監督は「県中総体要項」に則り, 当該校の校長・教員・部活動指導員, 地域クラブ活動の代表者・指導者とする。
 ADカードを各所属ごとに作成し, 常に携帯すること。ADカードによる通行規制を行います。
- (5) 競技中に発生した負傷・疾病については, 応急処置等の措置は主催者において行い, 必要に応じて救急病院等と連絡をとる。また, 参加者は健康保険証を持参することが望ましい。

《第50回全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録》

男子(13種目)		女子(10種目)	
種目	標準記録	種目	標準記録
100m	11"20	100m	12"53
200m	22"75	200m	25"80
400m	51"60		
800m	2'00"50	800m	2'16"50
1500m	4'08"50	1500m	4'38"00
3000m	8'57"00		
110mH	15"00	100mH	14"80
走高跳	1m85	走高跳	1m60
棒高跳	4m00		
走幅跳	6m55	走幅跳	5m45
砲丸投	13m00(5kg)	砲丸投	12m50
四種競技	2500点(4kg)	四種競技	2630点
4x100mR	各都道府県1チーム (学校単独チーム)	4x100mR	各都道府県1チーム (学校単独チーム)

参考 公益財団法人日本陸上競技連盟

陸上競技会開催のガイダンス(第5版)

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202303/27_102357.pdf

マスク着用の考え方について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00001.html

【参考】

日本中学校体育連盟 全国中学校体育大会「参加資格の特例」 および 日本中学校体育連盟陸上競技部「全日本中学校陸上競技選手権大会参加の特例細則」 (2023年1月17日時点)

◎学校教育法134条の各種学校（1条校以外）に在籍する中学生

- (1) 学校教育法134条の各種学校（1条校以外）に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
- (2) 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - ① 全国大会の参加を認める条件
 - ア 公益財団法人日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 生徒の年齢及び修業年限が我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - ウ 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
 - ② 全国大会に参加した場合に守るべき条件
 - ア 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員または部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

◎地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）に所属する中学生

- (1) 地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
- (2) 全国中学校体育大会に参加を希望する地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）は以下の条件を具備すること。
 - ① 全国中学校体育大会の参加を認める条件
 - ア (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
 - ウ 地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
 - エ 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
 - オ 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること（登録費については、都道府県中学校体育連盟の方針による）。
 - カ 都道府県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
 - キ 地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
 - ② 全国中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
 - ア 全国中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 全国中学校体育大会参加に際して、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること（引率細則は適用する）。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - ウ 全国中学校体育大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
 - エ 団体競技における地域スポーツ団体名（地域クラブ活動）での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。
 - ③ 参加を認めない場合
 - ア 全国中学校体育大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。
- (3) 全日本中学校陸上競技選手権大会参加の特例細則
在籍している学校の所属、または日本陸上競技連盟に登録をしている地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の所属のいずれかで参加できる。いずれの場合も、在籍している学校が所在する都道府県より、標準記録突破指定大会、全日本中学校陸上競技選手権大会に、参加する（標準記録突破指定大会の参加資格は各都道府県中学校体育連盟が定める）。リレーは、登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の所属で参加することができる。複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。